



## トウモロコシ収穫体験

和気香風



12日、トウモロコシ収穫体験を行いました。これは、中村農園の中村健二様のご厚意で実現したものです。全校児童が畑に入って、トウモロコシが実っているところを自分の目で見て、自分の手で収穫し、持ち帰らせていただきました。全国から注文が入る甘くて美味しいトウモロコシを一人4本もいただき、両手に抱えている子どもたちはとてもうれしそうでした。

途中、二殿教育長の問いかけに、「早く、お母さんに食べさせてやりたい。」と答える子どもの声が聞こえました。「(自分が) 早く食べたい」ではなく、「お母さんに食べさせてやりたい」と心から湧き出る声こそが、体験活動を重ねてきている子どもたちにしか出せない、「心が耕されている」温もりある声なのです。

このような子どもの心を育てる機会を与えてくださった中村様に深く感謝いたします。



## 人生で大切にしたい「あいうえお」

今年度は、校長として役を終える最後の年になりました。この南小で長い教員生活を終えることができる幸せを昨年度から感じ、よく「幸せとは」「人生とは」と考えたり、調べたりするようになりました。そこで、ご存じかと思いますが、ここに、人生で大切にしたい「あいうえお」について紹介します。

あ＝愛  
い＝命  
う＝運  
え＝縁  
お＝恩

ある少年が母親から、「この中であなた自身のためにあるものは何だと思う？」と問われ、「命」と答えた時の母親の教え。「命以外はあなた以外の人がいないと発動できない。あなたにしかないものは命しかない。愛、運、縁、恩は、あなた以外の人に向けて与えていくものだから、そのためにあなたには命がある。愛も運も縁も恩も繋がっていて、同じもの。愛なくして縁もなく、縁なくして運もなく、運なくして恩もない。どれか一つ欠けてもなくなるから、絶対大切なものとして取り扱いなさい。」とてもすてきな教えです。人生の生き方が変わってくる教えだと感じました。

「あいうえお」と、**あい**（愛）で始まり、「わあうゑを ん」と、**をん**（恩）で終わる五十音。あ行からわ行、「あなた」と「わたし」に架け橋を結んでいくのが五十音世界。

「人間」は「人と人の間」と書くように、より深い幸せは、私とあなたの「間」にあるものです。日本の伝統芸能である歌舞伎由来の言葉をみると、「間」が抜けると「間抜け」になるし、「間」が違うと「間違い」になる。日本人はそれだけ「間」を大切にしているのです。そもそも「幸せ」という言葉は、「お互いにし合う」という意味の「為（な）**し合わせ**」が語源です。人と人の間の心の結び合いこそが、幸せに繋がるということでしょう。

わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
ゐ	り	い	み	ひ	に	ち	し	き	い
う	る	ゆ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う
ゑ	れ	え	め	へ	ね	て	せ	け	え
を	ろ	よ	も	ほ	の	と	そ	こ	お

下記のは、今、南小の校長として大切にしたい心構えです。**すべての始まりの「あ」愛**は、たくさんあります。私を見かけると「校長先生、～～～」と話しかけてくれる子どもたち。笑顔で手を振ってくれる子どもたち。保護者や地域の方々からも、通りすがりに手を振ったり、車のクラクションを鳴らしたり、お声をかけてくださったりと、多くの人に見守られ、愛されている幸せを感じます。だからこそ、「お」恩の次に来るものがあります。

「お」恩  
たくさんの人に想われた  
幸せに恩を返す。  
己の在り様や行動で恩  
を返すことを忘れては  
ならない。

「え」縁  
縁は双方向。  
己と相手が互いに結ば  
うと思わなければ結ぶ  
ことができない。  
意志があり、運を掴み、  
縁を結んだ者が「恩」を  
感じる。

「う」運  
運は己の行動次第で掴  
めるもの。  
行動で、流れを変える。  
意志があり、運を掴んだ  
者が「え」縁を結ぶ。

「い」意志  
目標の達成に向けて自  
分の行動を貫くこと。  
意志のある者が「う」運  
をつかむ。

それは、「か」感謝です。多くの方々のご厚意と、幸せな日常の日々を送ることができていることに感謝しながら、だからこそ、その恩を返すためにも、校長として「目の前の子どもたちに、これでもかの愛情を」もって接し、確固たる意志で学校経営に臨んでまいります。決して、あ：あきらめ い：言い訳 う：後ろ向き え：遠慮 お：思い込みの道を歩まぬように、自らを律して、この学校そして子どもたちのために力を尽くしてまいります。